

令和7年度

金沢大学大学院自然科学研究科

博士後期課程

(社会人特別選抜を含む)

学生募集要項

第1次～第2次

令和6年4月

金沢大学大学院自然科学研究科

## 令和7年度日程(博士後期課程)

事 項		日程 (第1次)	日程 (第2次)	備 考
出願資格の認定	提出期間	令和6年5月22日(水)から 令和6年5月28日(火)まで (土曜日及び日曜日は 除きます。)	令和6年11月11日(月)から 令和6年11月14日(木)まで	本要項6ページの 「4 出願資格⑥,⑦, ⑧」により出願を 希望する者
	審査結果通知	令和6年6月7日(金)	令和6年11月22日(金)	

出 願 期 間	令和6年6月10日(月)から 令和6年6月14日(金)まで	令和6年12月2日(月)から 令和6年12月6日(金)まで	
試 験 日	令和6年7月9日(火)から 令和6年7月16日(火)の うち専攻が指定する1日 (土曜日, 日曜日及び祝日は 除きます。)	令和6年12月23日(月)から 令和6年12月27日(金)の うち専攻が指定する1日	学内進学者の試験日 及び合格者発表は, 出願者に別途お知らせ いたします。
合 格 者 発 表	令和6年7月26日(金)15時頃	令和7年1月24日(金)15時頃	

※第1次の志願状況により第2次を実施しない場合があります。実施の有無については随時研究科Webサイトを確認してください。

## 目 次

1 趣 旨	3
2 募 集 人 員	3
3 入学者受入方針	3
4 出 願 資 格	6
5 出 願 期 間	7
6 出 願 手 続	7
7 選 抜 の 方 法	10
8 試験期日及び試験場	10
9 合 格 者 発 表	11
10 授業料等納付金	11
11 注 意 事 項	11
12 個人情報保護	11
13 問 合 せ 先	12
14 その他(障がいのある者等の事前相談, 奨学制度, 長期履修制度, 入学料免除, 授業料免除)	12
15 外国人留学生就職促進教育プログラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」	13
出 願 資 格 の 認 定	14
自然科学研究科の所在地略図	16

(注) 本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項及び本学Webサイトを熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

「自然災害により被災した志願者の検定料免除について」

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会を確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学Webサイトを確認ください。

本学(入試情報)Webサイト (本学トップ>入試情報・高大院接続)  
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/>

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先      TEL : 076-264-5180      E-mail : nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和7年度  
金沢大学大学院自然科学研究科(博士後期課程)学生募集要項  
(社会人特別選抜を含む)

## 1 趣 旨

本研究科は、令和7年度4月期入学(博士後期課程)の学生を募集します。なお、「一般選抜」のほかに、研究経験や研究成果などに配慮した「社会人特別選抜」を実施します。

## 2 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	一般選抜(社会人特別選抜を含む)
数 物 科 学 専 攻	17名
物 質 化 学 専 攻	16名
機 械 科 学 専 攻	19名
フロンティア工学専攻	19名
電子情報通信学専攻	17名
地球社会基盤学専攻	19名
生命理工学専攻	13名

## 3 入学者受入方針

### 【数物科学専攻】

自然科学の基礎分野に興味を持ち、数学や物理学又は計算科学に関する基礎知識を備えていること。自らの専門分野に強い探究心があり、一般企業や研究機関の研究者や教育機関の教員として、将来活躍することを目指す、意欲的な学生を求めています。

#### 入学者選抜の基本方針

口頭発表、学業成績証明書等より、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

#### 入学前に必要な基礎学力

英語及び専門分野に関する専門的基礎科目の基礎学力を身につけておくことが必要です。

### 【物質化学専攻】

自然と調和した豊かな社会を“化学”の力で実現することに強い意欲をもち、さらに次のような資質をもった人を求めています。①自然を畏敬し、謙虚に自然に学ぶ姿勢をもった人 ②社会や環境に対する責任を自覚し、研究倫理についての造詣を備えた人 ③創造性や探究心旺盛で、既存の知識に囚われないチャレンジ精神に溢れた人 ④大局的かつグローバルな視野を有し、広く世界へ向けて発信できる人 ⑤化学を通じ社会に貢献するという強い意欲をもった学生を求めています。

#### 入学者選抜の基本方針

本専攻の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、口述試験及び成績証明書によって志願者の能力と資質を総合的に評価します。

#### 入学前に必要な基礎学力

化学を基盤とする研究者・技術者・教育者となる上で必要な、より高度な化学の専門知識や研究方法および学際性を身につけ、グローバル化する社会や地域社会を積極的にリードできる課題探究能力、

自己表現力，コミュニケーション能力を養ってください。

### 【機械科学専攻】

「高度で柔軟な知能的機械システムの創成」また「環境・人間と機械技術の調和」という観点に立って、自己の立ち位置を理解しながら研鑽を積むことで、将来の機械科学の発展を担い、国際的に自分の考えを発信できる研究・教育者及び高度専門技術者となることを目指す学生を求めています。

#### 求める人材

- ・先端機械工学への興味，モノづくりへの熱意，人間支援に対する高い志を持つ人
- ・既得の幅広い機械工学の専門知識に新しい知見を加えて活用し，実践的な問題解決に取り組む強い意志を有している人
- ・国際的に通用するコミュニケーション能力を有している人
- ・研究者，技術者としての倫理観を備えている人

#### 入学者選抜の基本方針

機械科学専攻博士後期課程では，機械工学分野における専門的な知識，語学能力，及び研究意欲を問うための口述試験を行います。この結果に基づいて，志願者の能力や資質を総合的に評価します。

#### 入学前に必要な基礎学力

数学，物理学，機械系基礎科目(材料力学，流れ学，熱力学，機械力学)に関する深い理解とそれを応用する能力。自己の研究内容を発表・議論するための国際的プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

### 【フロンティア工学専攻】

社会の発展を支えてきた各工学分野の学術的・技術的知見の追求のみならず，多様な分野の知識，技術を取り入れることによってイノベーションを牽引し，新たな分野を創造して，人類の生活の向上・維持や未来につながる地球環境の保全に貢献する教育者，研究者，技術者となることを志す人材を求めています。

#### 求める人材

- ・高度な数学・物理学の知識に基づく応用力を有する人
- ・電子機械，機械工学，化学工学，電子情報工学の各分野における深い知識と，これら全般にわたる基本的な知識を備える人
- ・専門分野の知識，技術を融合して発展させることへの強い熱意を持つ人
- ・技術者としての高い倫理観と，国際的に交流，発信するためのコミュニケーション力を有する人
- ・融合的な先端技術を開発，牽引することで未来社会を開拓し，人類社会の持続的発展と国際社会に貢献しようとする意欲に満ちた人

#### 入学者選抜の基本方針

口頭発表，学業成績証明書等より，志願者の能力や資質を総合的に評価します。

#### 入学前に必要な基礎学力

専門科目に関する深い理解とそれを応用する能力。自己の研究内容を発表・議論するための国際的プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

### 【電子情報通信学専攻】

グローバルな高度情報化が急速に進んでいる社会では，技術進歩に対応できる高い能力を持ち独創性に富んだ科学技術を創造できると共に，多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応できる国際的な感覚を有する人材が必要となっています。本専攻の専門領域は，電気電子工学(エネルギー，デバイス，ナノテクノロジーなど)，情報通信工学(人工知能，IoT(Internet of Things)，情報セキュリティ，ビッグデータ解析など)に至る広い分野にわたり，さらに，これらを融合する技術の統合的学問分野も含む広範な科学技術分野に及んでいます。本専攻では，このような電子情報科学の分野において，科学の多様な展開に適応でき，世界をリードできる豊かな創造性と高い研究開発能力を有する研究者や技術者を目指す意欲的な学生を求めています。

### 入学者選抜の基本方針

口述試験(「修士論文」,「研究経過報告書」,「研究または開発業務等の概要」についての口頭発表)及び出願書類等を総合して評価します。

### 入学前に必要な基礎学力

電気・電子・情報通信工学に関する幅広い基礎知識。専門技術者または研究者としての基礎的な研究開発能力。電気電子工学, 情報通信工学など専門分野における高い専門知識。

## 【地球社会基盤学専攻】

環境の世紀ともいわれる21世紀に, 地球の成り立ちを解明するスキルをもつ人材, 或いは最先端の工学技術をもちいて, 多様な地域社会の未来を探求する幅広い局面における高い専門性と学際性をもつ人材を育成することが, 社会から期待されています。そのため, 当専攻ではディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーをふまえて, 下記に示すような人材を求めます。

地球の成り立ちを理解し, 最先端の工学技術をもちいて, 多様な地域社会の未来を探求する幅広い局面における高い専門性と学際性をもつ国際的な研究者, 技術者, イノベータ起業家を目指す学生を求めます。とくに, 地球環境の科学的解明, 或いは地球環境と調和した持続可能な未来社会をデザインする教育・研究に従事する意欲や, 変化する地球システム・環境に対応したレジリエントかつカーボンニュートラルな自然共生型社会システムの創生に関心があることなどを重視します。

### 入学者選抜の基本方針

地球社会基盤学専攻は, 学力検査(口述試験)及び学業成績証明書により, 専門分野に関する高度な専門知識, 課題設定及び解決に関する志願者の能力や資質を総合的に評価します。

### 入学前に必要な基礎学力

専門分野に関する高度な専門知識, 研究遂行における課題設定・解決能力, 及び専門的な研究討論が可能なコミュニケーション能力が必要です。

## 【生命理工学専攻】

本専攻では, 豊かで持続可能な自然環境並びに自然と調和のとれた人間社会を実現するため, 生命現象の謎に挑戦する生命科学, 海洋及び陸水圏の様々な種について生理・生態・生産を探究する海洋生物資源学, 工学的発想で人間社会に適用するバイオ工学の各分野について, 研究に必要な専門知識, 実践的スキルや国際的視野を持ったリーダーとしての影響力を身につけ, 創造的科学家・技術者・教育研究者を目指す意欲的な学生を求めます。

### 入学者選抜の基本方針

生命理工学専攻では, 学力検査(口述試験)および学業成績証明書により, 志願者の専門的知識, それを活用し課題を設定・解決する資質, 専門分野における研究討論能力を総合的に評価します。

### 入学前に必要な基礎学力

専門分野に関する高い専門知識とそれを応用し研究を遂行するための課題設定および解決能力が必要となります。

## 4 出 願 資 格

一 般 選 抜 次の各号のいずれかに該当する者

社会人特別選抜 社会人特別選抜に出願できる者は、出願時において、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の受験許可を受けた者であって、次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年3月31日までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
  - 1) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
  - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに24歳に達するもの

出願資格⑥、⑦、⑧により出願を希望する者については、出願に先立ち資格審査を行います。14～15ページの「出願資格の認定」を参照してください。

### 「金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する皆さん」

金沢大学では、金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する学生は、原則「博士論文研究基礎力審査(Qualifying Examination)」(以下「QE」という)により修了することとしています。

QEを受験し、合格した学生は、修士論文執筆に縛られることなく、早い段階で博士論文の作成に向けた研究を進めることができます。金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する学生は、出願前に所属の学務係にQE受験手続等を確認してください。

## 5 出 願 期 間

第1次：令和6年6月10日(月)～令和6年6月14日(金) (土曜日，日曜日は除きます。)

第2次：令和6年11月11日(月)～令和6年11月14日(木)

(注1) 出願の受付は，午前9時から午後4時30分までとします。郵送（書留速達に限る）の場合も，出願期間の最終日までに必着（出願期間最終日の前々日の発信局日付印のある書留速達は有効）です。

(注2) Web出願システムは，出願期間初日の一週間前の午前9時から事前登録が可能です。

「出願資格⑥，⑦，⑧」により出願を希望する者については，14ページの「出願資格の認定 2. 提出期間」を参照して下さい。

## 6 出 願 手 続

本学の出願方法は，Web 出願限定です。学生募集要項の紙媒体（冊子）での配付は行いません。

### (1) 出願方法

Web 出願の流れ



#### ① Web出願システム

Web出願システムへは，本学（入試情報）Web サイト  
（本学トップ>入試情報・高大院接続>Web出願）

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet\\_entry](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry) からアクセス  
できます。

《Web 出願デモサイト》

Web 出願を体験できるデモサイトを，本学Webサイト

（本学トップ>入試情報・高大院接続>Web 出願）に掲載しています。



#### ② 出願書類の提出先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工系事務部学生課入試係

#### <注意>

Web出願は，出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは，完了しません。出願期間内に，証明写真のアップロード及び7～9ページの提出書類の窓口への持参又は郵送（出願期間内に必着）を済ませ，内容に不備がなかった場合完了とします。

[出願に当たっての注意事項]

- ① 出願書類に不備がある場合は，受理しないことがあります。
- ② 出願書類受理後は，いかなる理由があっても書類の返却，記載事項の変更には応じません。
- ③ 出願書類に不正な事実があった場合は，入学許可を取り消すことがあります。

### (2) 出願書類等

#### ① Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後，登録完了メールに記載されているURLから，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので，カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
---------	---

※証明書以外のデータはアップロード不要です。

② Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

※窓口を持参又は郵送してください。

出願確認票（提出用）	<p>Web 出願システムで登録後、申込確認ページからA4判でカラー印刷し、提出してください。</p> <p>（注）出願確認票は、検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので、注意してください。</p>
宛名ラベル	<p>Web 出願システムで登録後、申込確認ページからA4判でカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。</p> <p>（注）封筒は、市販の角形2号封筒（240mm × 332mm）を使用し、書留速達で郵送してください。国際スピード郵便（EMS）での郵送も可能（その場合、印刷した宛名ラベルは同封する）です。</p> <p>※窓口を持参する場合は、宛名ラベル及び角形2号封筒は不要です。</p>

③その他必要な提出書類

①履歴書【様式1】	<p>本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したものの。学内進学者は、氏名の右横にチェックをつけてください。</p>		
②修了（見込み）証明書	<p>出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了（見込み）証明書ただし、出願資格⑥、⑦、⑧に該当する者は、最終学歴の学校長が作成したもの。</p> <p>なお、本学大学院自然科学研究科博士前期課程修了見込みの者は不要です。</p>		
③学業成績証明書	<p>ア.「出願資格①、②、③、④、⑤」により出願する者は、出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。</p> <p>イ.「出願資格⑦」により出願する者は、出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。</p> <p>ウ.「出願資格⑥、⑧」により出願する者は、最終学歴の学校長が作成したもの。（修得科目名及び単位数が記載されているもの）</p> <p>（注）外国の学校の修了（見込み）者は、日本語又は英語で作成された証明書を提出してください。</p>		
④修士の学位論文等	「修士論文の概要（様式随意）」又は「研究又は開発業務等の概要」 【様式2】	1部	<p>「出願資格①、②、③、④、⑤」修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を有する（授与された）者は、「修士論文の概要」又は「研究又は開発業務等の概要」（和文・英文のいずれかで記載してもよい。A4判5枚以内）</p> <p>「研究又は開発業務等の概要」については、本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの。</p>
	研究経過報告書	1部	<p>「出願資格①、②、③、④、⑤」修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を取得（授与される）見込みの者は、「研究経過報告書（修士論文の研究題目とその研究の進捗状況を要約したもの。A4判3枚以内）」【様式随意】</p>
	研究又は開発業務等の概要 【様式2】	1部	<p>「出願資格⑥、⑦、⑧」の者は、「研究又は開発業務等の概要（和文・英文のいずれかで記載してもよい。A4判5枚以内）」</p> <p>本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの。</p>
	学術論文等	1部	<p>研究等に関する発表論文別刷等の資料及び参考となると思われる書類（写し）がある場合は、添付してください。</p>
⑤口頭発表概要【様式3】	<p>本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判1枚以内で作成し、で印刷したもの。</p>		



⑥主任指導予定教員同意書【様式4】	<p>志願者は、予め指導を希望する教員の承諾を得てください。          本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したものの。  <b>※研究分野及び担当教員は以下のWebサイトを参照してください。</b>  <a href="https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/index.html">https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/index.html</a> (注6)</p>
⑦受験許可書【様式5】	<p>官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することを希望する者は、所属長(又は指導者)が作成した受験許可書を提出してください。          なお、出願時に提出できない場合は、入学手続き時に承諾書等を提出することとなります。出願期間前までに入試係へ問い合わせてください。          本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したものの。</p>
⑧大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について【様式6】	<p>社会人特別選抜志願者は、必ず提出してください。一般選抜志願者のうち、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請する者は、提出してください。(注4)          本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したものの。</p>
⑨その他	<p>外国人の志願者は、次の書類を提出してください。          ○パスポート(氏名が記載されたページ)をA4判に複写したもの。          出願時に日本に在留している者は、次の書類も併せて提出してください。          ○在留カード(表・裏)写し</p>

- (注1) 外国人の志願者は、上記提出書類のうち④、⑤については、本研究科所定用紙以外の様式での提出を認めます。  
(注2) 数物科学専攻に志願する者であって、本研究科博士前期課程数物科学専攻修了又は修了見込みの者については、  
⑤口頭発表概要【様式3】は提出不要です。  
(注3) 生命理工学専攻に志願する者であって、本学大学院博士前期課程・修士課程修了または修了見込みの者については、  
⑤口頭発表概要【様式3】に博士後期課程での研究計画を1,000字程度で記載してください。(用紙が足りない場合は適宜追加してください。なお、図表等は字数に入りません。)  
(注4) 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度について  
本研究科では、在職者等必要がある者に対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度を設けています。  
この制度を利用することで、自然科学研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。  
制度の適用を希望する場合は、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について【様式6】」を出願時に提出してください。
- 参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号) [抄]  
第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。
- (注5) 学内進学者は、上記出願書類のうち⑤については、本研究科所定用紙以外にQE審査申請様式での提出を認めます。  
(注6) (\*\*\*)印の付いた教員は令和7年3月定年退職予定、(\*\*)印の付いた教員は令和8年3月定年退職予定、(\*)印の付いた教員は令和9年3月定年退職予定、(#)印の付いた教員は主任指導教員にはなれません。

### (3) 検定料の支払

- ①検定料 30,000円 ※検定料の他に、サービス利用料として別途990円が必要です。

<注意>

学内進学者は、検定料の支払は不要です。

Web出願システムに登録の際、「検定料免除を申請しましたか？」で「はい」を選択してください。パスワードは「13 問合せ先(12ページ)」へ問合せってください。

#### ②支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキング(PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。)のいずれかで支払可能です。

<注意>

1. 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報(特にメールアドレスや電話番号)に間違いがないか確認してください。

2. 銀行窓口での支払はできません。
3. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
4. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
5. 出願書類受領後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。  
ただし、検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、令和7年3月31日(月)までに手続きを行ってください。

検定料返還手続方法は、以下のURLを確認してください。

本学（入試情報）Web サイト 本学トップ>入試情報・高大院接続>検定料免除・返還

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō\\_henkan](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō_henkan)



- ③国費外国人留学生（延長候補者）の方も、出願時に検定料を納付してください。その後、国費外国人留学生の期間延長が正式に決定した場合には、検定料を返還するので、令和7年3月31日(月)までに決定通知書の写しを添えて、返還請求手続をしてください。

## 7 選抜の方法

入学志願者の選抜は、「学力検査(口述試験)」及び「学業成績証明書」を総合して行います。「口述試験」の概要は、以下のとおりです。

区 分	摘 要
一 般 選 抜	「修士論文」, 「研究経過報告書」, 「研究又は開発業務等の概要」のいずれかについて、口頭発表(20分程度)及び質疑応答を行います。
社 会 人 特 別 選 抜	「研究又は開発業務等の概要」, 「修士論文」のいずれかについて、口頭発表(20分程度)及び質疑応答を行います。

(注1)液晶プロジェクターの使用希望者は、口頭発表概要【様式3】の該当区分に○をつけてください。なお、その他スライド等の使用を希望する場合は、入試係へ問い合わせてください。

(注2)数物科学専攻に志願する者であって、本学大学院博士前期課程・修士課程修了又は修了見込みの者については、別に選考を行います。

(注3)海外に在住し、やむを得ない事情により試験日当日に渡日が困難な場合には、インターネット等による口述試験を認める場合がありますので、出願期間の1週間前までに指導を希望する教員に申し出てください。

(注4)必要に応じて書面による学力確認を行う場合があります。その場合は、出願後に指導予定教員から連絡します。

(注5)学内進学者の選抜方法については、出願者に別途お知らせします。

## 8 試験期日及び試験場

専 攻 名	試 験 日 時	試 験 科 目		試 験 場
		一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	
数 物 科 学 専 攻 物 質 化 学 専 攻 機 械 科 学 専 攻 フロンティア工学専攻 電子情報通信学専攻 地球社会基盤学専攻 生命理工学専攻	第1次： 令和6年7月9日(火)から 令和6年7月16日(火) 第2次： 令和6年12月23日(月)から 令和6年12月27日(金) 上記のうち専攻が指定する日時(土曜日、日曜日及び祝日は除きます。)	口 述 試 験		金沢大学 角間キャンパス等 (金沢市角間町等)

(注1)試験日初日の1週間前に、Web出願システムより受験票の印刷が可能になります。申込画面からログインし、A4判で印刷してください。受験票の氏名等に間違いがある場合は、「13 問合せ先(12ページ)」まで連絡してください。試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。受験番号は、入学手続にも必要です。それまで受験票は大切に保管してください。試験日等の詳細については、別途お知らせします。

(注2)海外に在住する者については、金沢大学角間キャンパス以外の場所が試験場となる場合があります。

(注3)学内進学者の試験期日及び試験場については、出願者に別途お知らせします。

## 9 合格者発表

第1次：令和6年7月26日(金)15時頃，第2次：令和7年1月24日(金)15時頃に自然科学本館において掲示するとともに、金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。

合格通知書が必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/doc.html>

オンライン合否照会システム

<https://www.w3.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai>

(注)合格者の入学手続は、令和7年2月下旬送付の「大学院入学手続要項」に従ってください。

## 10 授業料等納付金

### (1) 入学手続時の必要経費

入学金 282,000円(予定)

注)令和6年3月本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学金の納入は不要です。

### (2) 授業料

前期分 267,900円(予定) [年額 535,800円(予定)]

注)国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

※上記(1)及び(2)の納付金額は予定額であり、入学時または在学中に入学金・授業料が改定された場合には、改定時から新入学金・新授業料が適用されます。

### (3) その他必要な経費

学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償) 3,620円(3年分)

## 11 注意事項

提出論文の返却を希望する者は、出願時に申し出てください。

## 12 個人情報の保護

本学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出する住所等連絡票等の書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学金免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学金・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務

- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 修了者に対する学習効果等調査(アウトカムズ・アセスメント)、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

## 13 問合せ先

金沢大学理工系事務部学生課入試係  
〒920-1192 金沢市角間町  
電話 076-234-6823 E-mail: s-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 14 その他

### (1) 障がいのある者等の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願期間締切日の3日前までに次の書類を提出し事前に相談してください。

#### ① 事前相談書(次の事項及び連絡先について記載したもの。様式は問いません。)

- ・氏名、志望専攻名
- ・障がいの種類・程度
- ・受験及び修学に配慮を希望する事項
- ・大学等でとられていた配慮
- ・日常生活の状況
- ・その他参考となる事項

#### ② 医師の診断書

#### ③ その他の参考書類(障害者手帳の写し等)

### (2) 奨学制度

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがあります。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」があります。

#### 【日本学生支援機構奨学金貸与月額】(2023年度 参考)

##### ・第一種奨学金(博士後期課程入学者)

80,000円, 122,000円から希望月額を選択する。

##### ・第二種奨学金

50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円から希望月額を選択する。

### (3) 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めています。

入学時に許可されれば、通常の修業年限(3年)において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うこととなります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

#### ① 有職者

#### ② 家事、育児、介護等に従事している者

#### ③ 身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む。)その他の心身の機能に障がいがある者

長期履修制度の利用を希望する場合は、出願期間内に本要項12ページ「13 問合せ先」に希望する旨を連絡してください。

- ※1 事前に指導を希望する教員とご相談ください。
- ※2 申請方法等は、合格通知とともにお知らせします。
- ※3 申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

#### (4) 入学料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で、入学料免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は、合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

- ① 大学院に入学する者で、経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

なお、入学料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5164

#### (5) 授業料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で、授業料免除を申請した者に対し、選考の上、納入すべき学期の授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は、合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

- ① 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 各学期納期前6か月以内（新入学生は、入学年度の最初の学期に限り入学前1年以内）に、学資負担者が死亡、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が困難になった者

なお、授業料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5164

## 15 外国人留学生就職促進教育プログラム

### 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045

Link KAGAYAKI Webサイト  
<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

Link KAGAYAKI 事務局メール  
[kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)



## 出 願 資 格 の 認 定

本要項6ページの「4 出願資格⑥, ⑦, ⑧」により出願を希望する者については、以下により出願資格の審査を行います。

### 1. 提 出 書 類

書 類 等	摘 要
(1) 入学試験出願資格認定申請書 【様式A】	本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの。
(2) 研究業績等調書【様式B】	本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの。
(3) 出願書類等	本要項7～9ページ「6 出願手続」の「(2) 出願書類等 ③その他必要な書類」
(4) 出願資格⑥に関する書類	<p>出願資格⑥により出願を希望する者のみ 出身大学長等が作成したもので、下記の内容が記載された文書及び添付書類(外国語の場合は日本語訳を添付すること)</p> <p>【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告します。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。</p> <p>【添付書類の例】 ①当該審査の合格基準 ②当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類 ③当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類</p>
(5) 出願資格⑧に関する書類	<p>出願資格⑧により出願を希望する者のみ 専門基礎科目に関する課題を提出してください。 また、課題は、事前に志望指導教員に確認してください。</p>

### 2. 提出期間

第1次：令和6年5月22日（水）から令和6年5月28日（火）まで

第2次：令和6年11月11日（月）から令和6年11月14日（木）まで

(注) 受付は、午前9時から午後4時30分までとします。

郵送する場合も、提出期間の最終日までに必着のこと(提出期間最終日の前々日までの発信局日付印のある書留速達郵便に限る)。

### 3. 提 出 先

本要項7ページ「6 出願手続」の「(1) 出願方法②出願書類の提出先」とします。

なお、郵送する場合は、書留速達とし、その封筒の表に「大学院自然科学研究科博士後期課程入学願書・資格認定申請書在中」と朱書してください。

#### 4. 審査の結果

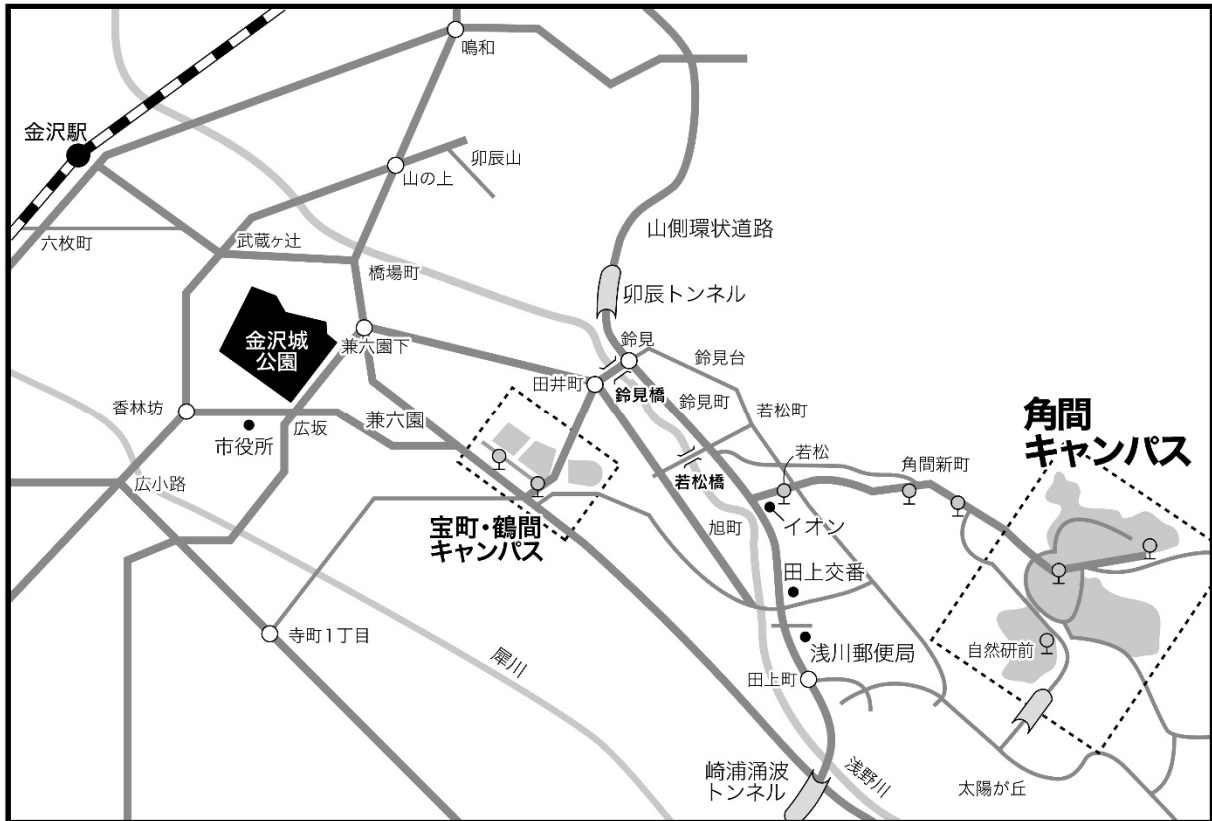
審査の結果は、第1次：令和6年6月7日(金)、第2次：令和6年11月22日(金)に、申請者あて郵便により通知します。

認定された者は、出願期間内にWeb出願システムで出願情報の登録、検定料の支払、証明写真のアップロードを行い、出願確認票(提出用)を出願期間内に郵送してください。(書留速達郵便に限る。)出願確認票(提出用)の提出をもって、出願手続が完了します。

なお、出願確認票(提出用)以外の出願書類をあらためて提出する必要はありません。

出願資格認定の細目等の照会については、本要項12ページ「13 問合せ先」あてにしてください。

## 自然科学研究科の所在地略図



### ■金沢駅からキャンパスまでのアクセス

(北陸鉄道バス利用の場合)

#### ●角間キャンパス〈バス停：金沢大学自然研前〉まで

JR金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車「金沢大学自然研前」下車徒歩すぐ(自然科学本館まで)、徒歩3分(自然科学5号館まで)

(バス所要時間 約35分)



【様式 1】

受験番号	※
------	---

# 履 歴 書

氏名 \_\_\_\_\_ 学内進学者

金沢大学大学院自然科学研究科（博士後期課程）

履 歴	
	年 月
学 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
修士論文 (又は、これに代わるもの) 題名	
職 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

注1) 学歴は、高等学校卒業から詳細に記入してください。

(記入例)

昭和・平成 年 月 ○○高等学校 卒業  
年 月 ○○大学○○学部○○学科 入学  
年 月 同 上 卒業  
年 月 ○○大学大学院  
○○研究科博士前期課程 (○○専攻) 入学  
年 月 同 上 修了見込

注2) 氏名の右横の□には、該当する場合のみ✓マークを記入してください。

# 研究又は開発業務等の概要

No. \_\_\_\_\_

金沢大学大学院自然科学研究科（博士後期課程）

受験番号	※	氏名	
[Dotted lines for writing]			

注 No.2以降は，A4用紙を追加し，5枚以内で記述してください。



受験番号	※
------	---

## 主任指導予定教員同意書

志願者氏名

---

志望研究分野

---

※募集要項9ページを参照して記入のこと

上記の志願者が自然科学研究科（博士後期課程）に入学を許可された場合には，主任指導教員になることを承諾します。

年 月 日

主任指導予定教員名

---

印

受験番号	※
------	---

## 受 験 許 可 書

金沢大学大学院自然科学研究科長 殿

このたび、 \_\_\_\_\_ が貴大学大学院自然科学研究科  
\_\_\_\_\_ 専攻（博士後期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院自然科学研究科に入学した場合は、在  
職のまま在学することを認めます。

年 月 日

(所属・職名)

(氏 名)

印

【様式 6】

受験番号	※
------	---

年 月 日

金沢大学大学院自然科学研究科長 殿

申請者氏名（署名）

## 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について

このことについて、下記の理由により修学上必要としますので、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請します。

記

（申請理由）

--

※ 長期履修制度 利用希望 有 無

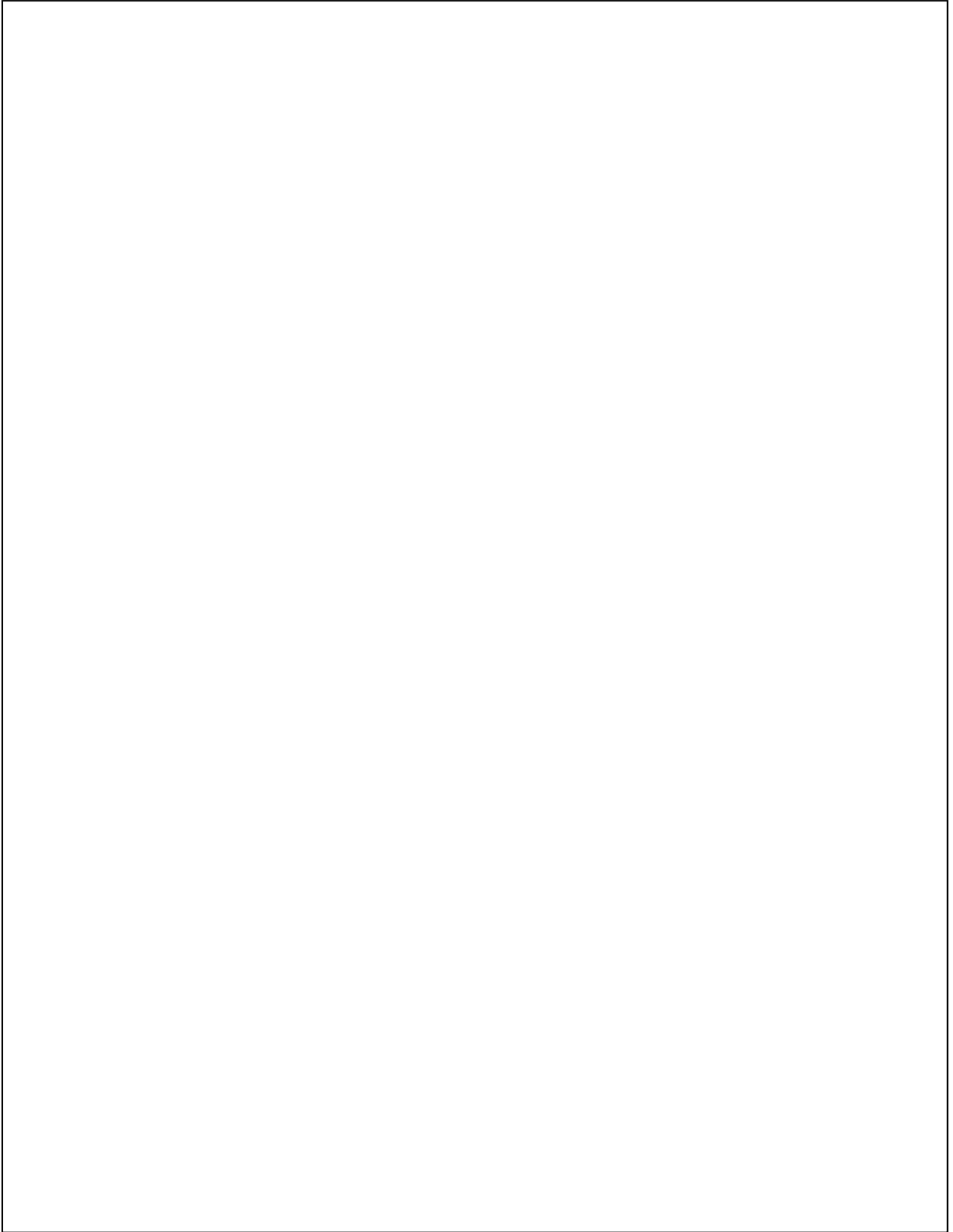
※ 長期履修制度の詳細は本要項12～13ページを参照してください。また、希望の有無に関わらず、チェック欄に必ずチェックを入れてください。

## 入学試験出願資格認定申請書

受験番号	※	金沢大学大学院自然科学研究科（博士後期課程）
<p>金沢大学大学院自然科学研究科長 殿</p> <p>貴大学大学院自然科学研究科（博士後期課程）入学試験に出願を希望します。                  ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">ふりがな</p> <p style="text-align: center;">氏名 _____ 男・女</p> <p style="text-align: right;">年 月 日生（ 歳）</p>		
現 住 所	電話 - -	
現 職	勤 務 先	
	職 名	
	所 在 地	電話 - -
学 歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）		
年 月 日	高等学校卒業	
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
職 歴（研究・開発の業務内容が分かるように詳細に記入願います。）		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
学会その他における活動状況		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

注 2ページにわたる場合は、両面印刷してください。

【様式 A】





【様式 B】

# 研 究 業 績 等 調 書

氏 名 \_\_\_\_\_

受験番号	※
------	---

金沢大学大学院自然科学研究科（博士後期課程）

学 術 論 文，著 書，研 究 発 表，特 許 等 の 名 称	発 行 又 は 発 表 の 年 月 日	発 行 所， 発 表 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	著 者 又 は 発 表 者 名

注1 本様式に書き切れない場合は、同様の形式のものを付加してください。

注2 「著者又は発表者名」欄は、志願者を含めて公表されている順番で記入してください。